



谷あいを進む遊歩道



ヒゴタイ公園ビジターセンター（スタート・ゴール）



分かれ道1

安全なトレッキングを楽しみましょう。

- 自分の身は自分で守る：歩く前にコースや天候、距離等を把握して、自分に合った計画を立てましょう。
- 車に注意：農作業や観光等の車に気をつけて歩きましょう。
- 持ち物と服装：飲み物の準備や日焼け対策等季節や歩く時間に合わせた備えをしましょう。

※ Noは村内の看板に記載してある番号です。



眺望が開ける道



ヒゴタイ公園キャンプ村管理棟



分かれ道2



ロッジ村の小径を歩く

うぶやま草原トレッキング3か条

- ゴミを残さずきれいに歩こう。
- 牛と人、テリトリーを守ろう。
- 草花はそこにあるから美しい。



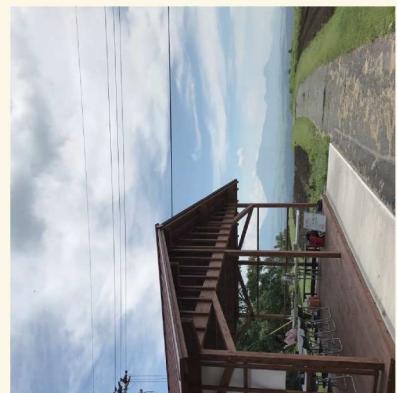


ヒゴタイ公園と 山野草コースマップ

ヒゴタイ公園と 山野草コースマップ

起点・終点：ヒゴタイ公園ビジターセンター

ヒゴタイ公園内を散策する周遊コース。ビジターセンターから見る雄大な阿蘇五岳の眺めから、渓谷へ降りてきます。川沿いで様々な野草を見ながら、阿蘇を抜けて、阿蘇を背にした山々へ登っていけばビジャーセンターに戻ります。季節の草花を観察できる手頃なハイキングコースです。



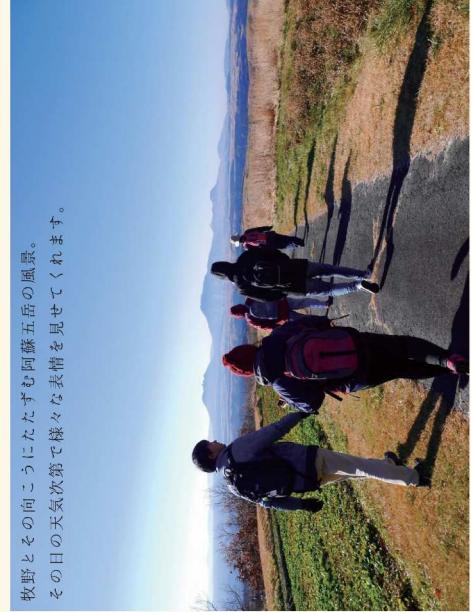
キャンプ村を流れる小川。せせらぎの音を聞きながら、足元の野草を目を配りながら、歩いていきます。



牧野とその向こうにたたずむ阿蘇五岳の風景。
その日の天気次第で様々な表情を見せてくれます。



秋冬は日差しと足元の落ち葉を感じて。春夏は木陰と谷を抜けける風を感じて。



うぶちゃんのイチオシ！



ヒゴタイ公園はヒゴタイと眺望が有名ですが、九重連山の湧水が流れる谷あいもオススメ。
希少な植物やヤマメなど
が暮らしています！

距離：約3km

ヒゴタイ公園内を散策する周遊コース。ビジターセンターから見る雄大な阿蘇五岳の眺めから、渓谷へ降りてきます。川沿いで様々な野草を見ながら、阿蘇を抜けて、阿蘇を背にした山々へ登っていけばビジャーセンターに戻ります。季節の草花を観察できる手頃なハイキングコースです。



草原の村・うぶやまトレッキング

産山村

緑たなびく山々、泉質かな温泉。
そして果ることなく湧き出する清水一。
阿蘇郡の北東部に位置し、阿蘇外輪山・九重連山・祖母山系のめぐみを味わうことができます。
各所で見られる山野草や名物のあか牛料理、清らかな空気の中で暮らす生きものが堪能できるのが、「草原の村・うぶやま」です。

詳しく述べは「産山村観光協会 HP」へ
〒889-2703
熊本県阿蘇郡産山村大字宇鹿488番地3
TEL 0967-25-2211(代表) FAX 0967-25-2004
「もしもし！」のときは…
阿蘇警察署産山村駐在所 TEL:0967-25-2004
産山村診療所 TEL:0967-25-2011

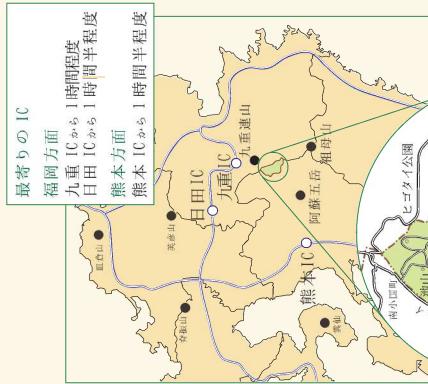
お問い合わせ
産山村企画振興課（産山村観光協会）
〒889-2703
熊本県阿蘇郡産山村大字宇鹿488番地3
TEL 0967-25-2211(代表) FAX 0967-25-2004
「もしもし！」のときは…
阿蘇警察署産山村駐在所 TEL:0967-25-2004
産山村診療所 TEL:0967-25-2011

「キミレ」(スミレ科スミレ属／見頃：4月中旬～下旬)
阿蘇きで真っ黒になった牧原に春一番に咲くのがキミレ。
野焼きで真っ黒になった牧原に春一番に咲くのがキミレ。
発行：産山村役場 企画振興課
制作年：2018年3月

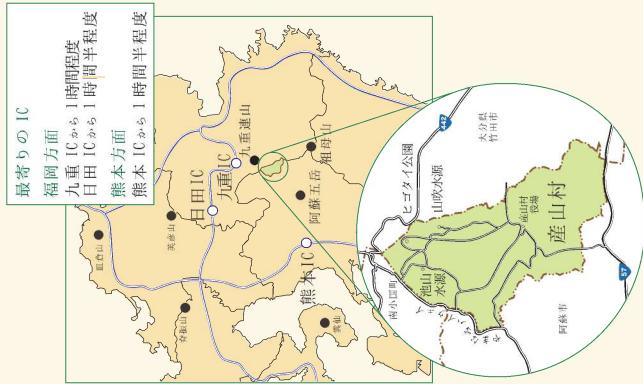
うぶやま草原トレッキングとは



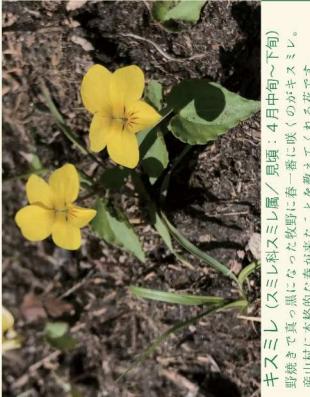
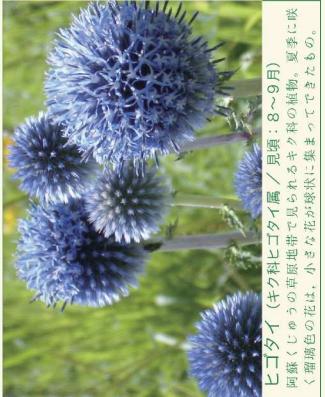
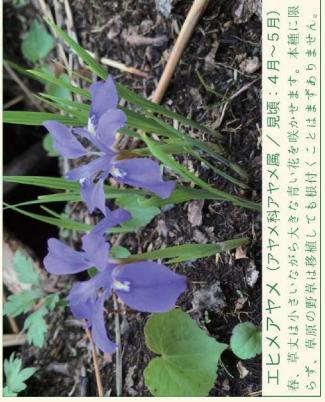
産山村は、阿蘇の北東部に位置し里山のめぐみを味わうことができます。3つのコースは、牛たちが暮らす牧野・山々の地下が溢れる水源・人と自然が織りなす棚田風景を楽しむために地元と一緒につくりました。



アクセスマップ



ヒゴタイ公園と山野草コースで見られる動植物



ヒゴタイ(キク科ヒゴタイ属／見頃：8～9月)

阿蘇くじゅうの草原地帯で見られるキク科の植物。夏季に咲く鮮やかな花は、小さな花が群状に集まっています。

ヒゴヤメ(アヤメ科アヤメ属／見頃：4月～5月)

草丈は小さないがら大きな青い花を咲かせます。本種に限らず、草原の野草は珍しくても見付くことはまさりません。



産山村ほーたる 檜森

ボーラルサイトでは、マップを見たりダウンロードすることができます。
さきに360°C風景が見られるVR動画もアップ中！

「リモンハナバチ」(ミツバチ科リモンハナバチ属／見頃：8月～10月)
幸運で真っ黒になった牧原に春一番に咲くのがリモンハナバチ。
正式にはナミリモンハナバチ。